

広報

県遊協

山形県遊技業組合
TEL 023-615-6922
FAX 023-615-6923
Eメール yamagata@zennichiyure.n.or.jp

☆県遊協5月の理事会を開催

27・5・25 13・00 組合事務所

○専務理事から、5月22日（金）開催の全国理事会の開催結果から①②を報告しました。
①新基準に該当しない遊技機の撤去について
②釘曲げ事案実態の推進機構調査について
の報告がありました。①については、意見がまとまらず6月24日に臨時の全国理事会を開催して調整し、7月22日の全国理事会で決議すること。②については、推進機構が6ヶ月間独自に調査することでありました。なお独自の調査期間は行政への報告はしないそうです。詳細は別の項目をご覧ください。

第一号議案 平成27年度通常総会案の検討について
県遊協・県遊防協・県遊暴追協・不正防止対策委員会の平成26年度事業報告などについて
第二号議案 平成27年度総会運営要領・役割等
第三号議案 県遊協表彰の審査について
第四号議案 次回理事会・研修会・総会等確認

★全国理事会報告の詳細について

①については、新基準の1/320を超えるマックスタイプのパチンコ台は設置台数が全体の約40%流通しているが、それを年間10%ずつ2年間削減しようとする案・パチスロでは新基準に該当しない台が約70%程度あり、これを年間20%ずつ2年間削減しようとする案が提示されました。

これらの案には、反対意見も多く、「審議が足りない」として6月24日に臨時の理事会を開催して議論し、7月22日の理事会で最終的に決定することになりました。今のところどうなるのか不明ですが、のめり込み防止対策の一環として日工組が新基準を決めたもので、行政からの指導などもあり、難しい選択肢となりそうです。②の釘曲げ問題については次のページを参考にしてください。

②については、警察庁が「左右の入賞口付近の釘曲げがあり、玉が全く入らない」として確認のため健全化推進機構に検査を依頼したもので、機構では、その要請を受け、6月から6ヶ月間秘密調査を行うこととなったものです。ホール側が自ら曲げているのか、保通協の検定の後に販社が曲げているのかわからない部分もあり、理事会でももめていた状態でした。なお、健全化推進機構の検査については、お客に扮し検査をしていることが報告されましたが、秘匿調査結果は行政に報告しないとしております。現時点で機構は「釘曲げはある」としてはいますが、事実とすればいざ指導致行されるものと思っております。

☆パチンコ・パチスロカーニバル 閉め切りだよ（6月12日まで）

今年も 7月18日（土）・19日（日）・20日（海の日・月）の3日間

県内のほぼ全部のホールが参加して行われます。まだ申し込みをしていないホールは急いでください。滑り込みはセーフです。急いでください。また、申込書を紛失した場合は組合事務局に「一報」くださいば対応します。

今年もAコース（家電）・Bコース（地産地消費品）・Cコース（家電）の3コースを準備しました。特にBコースは山形県内の地産地消費食品で、代金は県内の生産者に支払われます。

◎県遊協 通常総会開催日程

日時 平成27年6月18日 午後3時開催

場所 ホテルメトロポリタン山形4F霞城の間
市外から出席の方には、1ホール一台分、距離に応じてガソリン代が支給されます。

県遊協・県遊防協・県遊暴追協・不正防止対策を同時開催します。平成26年度事業報告・収支決算報告、平成27年度事業計画案・収支予算案などが主な協議事項となります。

●総会前に研修会を開催します。

6月18日（総会当日）午後2時から総会場のホテルメトロポリタン山形4F霞城の間で研修会を開催します。研修内容は次の通りです。

- ①依存（のめり込み）問題対応ガイドラインについて（午後2時から約40分間）
- ②ホールにおける置き引き防止対策について（午後2時40分から約15分間）

①についての講師は熊坂専務理事、②についての講師は天津事務局長が担当します。のめり込み問題については、さる4月23日、全国専務理事・事務局長を集めた「研修会」があり、出席して受講して参りました。カジノ法案なども絡めて説明したいと思っております。

●依存（のめり込み）問題とは

いわゆる依存症について、WHOでは「病的賭博」・アメリカ精神医学会では「ギャンブル障害」とされている。精神疾患分類で「依存症」の表記はないという。パチンコ・パチスロにおける依存（のめり込み）とは、アメリカの診断基準を援用すると「臨床的に重大な健康上の障害や苦痛を引き起こす問題あるパチンコ・パチスロ行為が12ヶ月持続したり反復したりすること」とある。わかりやすく言えば「依存（のめり込み）の弊害として、個人の経済的（借金問題等）・職業的（仕事への悪影響）・人的関係（家族関係）などへの波及にとどまらず、社会生活そのものに悪影響（社会的破綻）をきたす場合があることが指摘されている。ガイドラインでは、依存（のめり込み）及びその外延にあるのめり込みの恐れがある人（いわゆる予備軍）を含めて「依存（のめり込み）問題」という。

☆山形県地球温暖化防止県民運動推進大会から紹介

▼平成27年度「夏の省エネ県民運動」について「笑顔で省エネ県民運動」実施要項に基づき、夏期において、幅広い省エネ県民運動を展開し、地球温暖化防止に向けた一層の温室効果ガスの排出量の削減を推進するとしています。

- ①7～9月の電気使用量は22年比5%削減する。
- ②ピークカット・ピークシフトに取り組む時間帯を14～15時とする。
- ③実施期間 平成27年6月～9月の間
- ④スローガン 「早寝早起き 家族団らん 笑顔で省エネ」
- ⑤普及啓発キャンペーンの実施
- ⑥CO2削減/ライトダウンキャンペーン 6月22日（月）～7月7日（火）への参加
- ⑦県内全域省エネ節電普及啓発キャンペーン参加 7月18日（土）～26日（日）・8月8日～16日（同）
- ⑧省エネ・節電意識向上コンテスト等の実施
- ⑨小学生の図画・ポスターコンテスト
- ⑩省エネ・節電川柳の募集
- ⑪省エネ・節電対策事業
- ⑫家庭のアクション事業・事業所のアクション事業・自動車のアクション事業など



▼夏の省エネ川柳
節約で ぼくらの未来を フル充電 小6男
▽町中に エコから広がる 笑顔の輪 中1女
▽省エネは 未来も続く 新資源 一般男
平成26年度の小・中・一般のグランプリです。なかなかうまいですね。



いよいよ夏本番です。今年は5月から真夏日が多く心配です。車内事故防止と置き引き防止が課題、しっかりと巡回しましょう

編集後記

サクランボ生産農家は今がかき入れ時。そのおろりでお客様が減っていないかと心配しています。そういえば毎年この季節、どこからともなくサクランボが届くのですが、今年はまだ届いていないので口にも入りません。豊作なのやら、どうやら。これも心配事の一つです。

熊坂



前田慶次没後40周年供養祭の状況



前田慶次の会へバストを送る権支部長